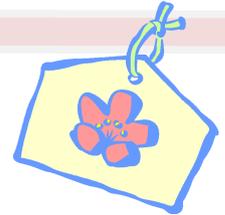


まつかわ

□□□ 第7号 □□□

1年のまとめ 3学期

【3期始業式 校長先生の話】



新年、明けましておめでとうございます。

今年の年末年始休業は少し長めでしたが、どんな休みになりましたか。穏やかな天候で比較的過ごしやすかったのかなと思いますか？

さて、学校は本日より3学期がスタートします。新しい年を迎え、皆さんはどんな決意や目標を立てましたか。2学期終業式でお話しましたが、「しっかり根を張る」そんな3学期になると良いですね。

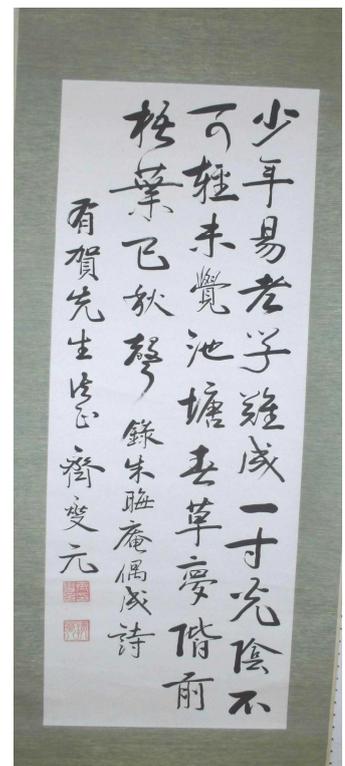
今日は少し私自身の話をします。私の実家（伊那谷の一番北の端、辰野町にあります）はちょっと古く、江戸時代末に立てられた家のようなのです。そのためか、古い物が結構あります。（残念ながらお宝探偵団に出して高額の値段がつきそうなものはありませんが・・・）

私の家では、人生の節目の時、たとえば高校入試とか大学入試とか、私には姉と弟がいますが、それぞれが何か節目を迎える時の正月に、座敷の床の間にある決まった掛け軸が掛けられました。この慣わしは、私の親や叔父たちのころから続いているみたいです。掛けられた掛け軸には

少年老い易く学成り難し
一寸の光陰軽んずべからず
未だ覚めず池塘春草（ちとうしゅんそう）の夢
階前の梧葉（ごよう）已（すで）に秋声

中国の古い詩で、この詩のタイトルは「偶成」といい、作者は「朱喜」という人です。高校の漢文という教科の教科書に載っていたので、この詩のタイトルと作者を覚えました。しかし、最近の研究で、この詩（ことわざ）の作者は、朱喜ではなく、もっと古い時代からこの詩はあったらしいということになっているそうです。

そんな訳で、作者はよくわかりませんが、この詩の意味は、「若者はアツという間に年をとってしまうけれど、学問というものはなかなか大成しにくい。だから、少しの時間でも輕輕しく過ごしてはならないよ。」ということと高校の時に習いました。インターネットでこの詩について検索したら、解釈はほかにもあるようです。また、「学校の先生がいかにも好きそうな詩ですね」と紹介されていました。明治時代から日本の漢文の教科書にずっと載っているのだそうです。



さて、皆さんは今12歳から15歳。まさにこの詩の中の「少年」の時期ですね。「月日のたつのは早いですよ」と、この詩で問いかけてられているまさにその年齢です。(私のような年になると、もっと早いと感じますが。) だから、しっかり学びましょう。というこのになります。

ところでこの詩の「学」とは何を学ぶことなのでしょう。毎日の国語や数学などの教科の学習のことでしょうか。道徳のような時間や総合的な学習の時間でしょうか。この詩の「学」は、もちろん、今言った学校の授業での学びも含むのですが、私はそれだけではないと考えます。もっと、広い意味での「学」があると考えます。

そもそも今、中学生として学んでいる「学」は、「学問」全体の中からみれば、ほんの一部に過ぎません。世の中には、もっと高度な「学び」やより専門的な「学び」もあるでしょう。

さらに、「学」の中には、知識や技能だけでなく、物事の考え方や、その学びに向かう態度も一緒に学んでいます。さらに、「教科」の学びだけでなく、「人生の生き方」「豊かに生きていくとは」といったことも学んでいるのではないのでしょうか。そんな視点から考えると、「少年」と言われる今の皆さんの時期に「広い意味での学び」が大事なんだよと言っているのではないかと思います。そして、この詩は、「そんな学びの時期はすぐ過ぎてしまいますよ」と言っているような気がします。

そして、この「学び」の中には、いつも皆さんにお話するように、「時には苦しい経験やうまくいかない経験」も含まれていると思うのです。そんな経験を「あっという間に過ぎてしまう少年といわれる皆さんの時期にいっぱい学びましょう」と言っているように思います。

「平成」という時代は来年4月で終わります。まだどんな元号になるのかわかりませんが、新しい元号の時代、その中で生きていく力は、ほんとういろいろな経験から身につけた力が大事になると私は考えます。

そんな意味でも、すぐにあきらめずに、今の「少年」と言われる時期に、多くの経験をしてたくさん学んでほしいなと願います。

今日は、新年のスタートにあたり、実家の床の間にかけていた掛け軸の詩を紹介しながらお話しさせていただきました。

寒い日が続く3学期です。身体も、そして心も大事にして(自分だけでなく、周りの人に対しても)、多くの経験を積んで学んでいきましょう。



保護者の皆様へ

- ・『学校評価アンケート』のまとめを別紙にて、家庭数で配布させていただきました。ご協力ありがとうございました。
- ・県内で、インフルエンザの罹患者が増えています。飯田地区には、長野県健康福祉部より、インフルエンザ警報がだされました。幸いなことに、本校のインフルエンザ罹患者は、減少傾向にあります。今後とも、うがい、手洗い、マスク使用等の予防に取り組み、インフルエンザが広まらないようにしていきたいと思っております。ご家庭のご理解ご協力をお願い致します。
- ・また、インフルエンザだけでなく、感染性胃腸炎の罹患者が増加する時期になっています。高熱、喉の痛み等、一般的にかぜといわれている症状での体調不調の場合と同様、下痢、嘔吐などの症状がでている場合は、無理して登校せず、休養をとっていただき、症状が改善されない場合は、医療機関へ受診するなど、早めの対応をお願い致します。

